

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	トワイライトダンス		
日時	令和4年10月1日（土）	18時30分開演	
場所	芝生広場		
事業の種類	アートのまち創造事業	配信	なし
出演者	林友里菜（舞踊系創造スタッフ）、大脇ぼんだ（演劇系創造スタッフ） 弓立翔哉、小田智之（音楽系創造スタッフ） ダンサー 松林由華		
公演内容	主に音楽や朗読と組み合わせた即興でのダンス公演 屋外で夕暮れを背景にダンスを楽しむ観覧自由の公演 朗読使用作品：無名の罪人（作 小西祐矢）		
入場者数	50		
支出	共演者出演委託費		20,000円
	計		20,000円
収入	入場料		0円
	計		0円
回収率	0.0%		

アンケート結果 アンケートなし

担当者
コメント

コンテンポラリーダンスというジャンルでの集客は難しい場合が多いが、今回は非常に多くのお客様にご来場いただきました。秋の気持ちのよい季節の夕暮れに屋外で、観覧フリーだった点は効果的だった。このイベントをきっかけに、後日開催された「展覧するダンス」にご来場いただけのお客様も見え、成果を見ることができた。このような経験を生かして、今後はホールでのダンス公演にもつなげていきたい。




長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	わたしの昆虫記		
日時	令和4年10月2日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	みやち ともこ、谷口 真規、鈴木 かえり、水原 あきほ、丹羽 智則、山内 庸平		
公演内容	わたしの昆虫記		
入場者数	172	席設定	292 入場率 39.3%
チケット料金	（前売）フレンズ会員・一般2,000円 高校生以下1,000円 （当日）フレンズ会員・一般2,000円 高校生以下1,000円		
支出	委託費	1,000,000円	
	チラシ印刷費	35,089円	
	おやこ劇場協力費	20,000円	
	計	1,055,089円	
収入	入場料	299,000円	
	瀬戸信用金庫地域振興協力基金	280,000円	
	計	579,000円	
回収率	54.9%		
アンケート結果	とてもよかった。戦争のこわさや苦しさがとても感じた。最後に戦争へいってしまうのがかなしく切なかった。（市外、10代女性） 兵士らが女の子たちに「心は変わる」ということを教えていたところに感動した。（市外、10代男性） このあと、あの6人の人生はどんなふうになっていくのか、あの3日間がどんなふうに影響していくのか、いろいろ想像してみたい。（市外、50代女性）		
担当者コメント	この作品は戦争まっただ中の時代を生きた女学校生徒と特攻兵として任命された青年たちの物語。戦時中の自由に生きることが困難な時代でも中高生たちがいきいきと過ごしている様子を表現している。生きにくい時代でも「自由な発想で、自分らしく生きて良いんだよ」という大きなメッセージを主人公と同世代の子たちに伝えることができたと考えられる。また、国同士が対立するニュースが目につく昨今、戦争について改めて考える機会となる作品を提供できたとも考えられる。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	展観するダンス		
日時	令和4年10月4日（火）～10月16日（日）		
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	アートのまち創造事業	配信	なし
出演者	林友里菜（舞踊系創造スタッフ）、 小西祐矢（美術系創造スタッフ）		
公演内容	ダンサーの視点や思考を展示する。 展のエリア・観のエリアからなる。		
入場者数	991		
チケット料金	無料		
支出	印刷製本費		12,869円
	計		12,869円
収入	入場料		0円
	計		0円
回収率			0.0%
アンケート結果	<p>ダンスを展示するというアイデアgood。（市内、70代男性）</p> <p>ダンスは苦手意識が強いけど、優しく身近なものとして感じられて嬉しかった。（市外、40代男性）</p> <p>何回リピートしたかわからないが、「観」エリア、ずっと立っていたくなった。（市内、30代女性）</p>		
担当者コメント	<p>美術系創造スタッフの小西氏による発案で、ダンスを展示するという新しい試みを行った。展示室の空間を2つに区切り、映像によるダンサーの視点や、言葉によるダンサーの思考を展示するおもしろい内容となった。来場者がコメントを書いて増やしていくようなスペースもあり、見に来た人が展示に参加できる要素もあった。なお、今回監視員をおかず、無人での展示としたが、大きな問題もなく終えることができた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書


公演名	工作ワークショップ いるかもおるかも		
日時	令和4年10月10日（月）	①10時00分②13時30分開演	
場所	長久手市文化の家 美術室		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	橋寛憲		
公演内容	様々な材料をもとに、いるかもしれない生物を作り出す工作ワークショップ		
入場者数	36	席設定	20
		入場率	180.0%
チケット料金	(前売) 500円 (当日) 500円		
支出	印刷製本費		12,869円
	計		12,869円
収入	入場料		18,000円
	計		18,000円
回収率	139.9%		

アンケート結果
 アニメーションの撮影もおもしろかった。またやってほしい。（市内、40代女性）
 あまりない企画で、参加型でみんなのできたため楽しかった。（市外、50代女性）
 子供達が夢中になって作る様子が見てとても楽しかった。（市外、40代女性）


担当者コメント
 発想力を豊かにしながら、たくさんの材料のなかから生き物を作ることを楽しむワークショップとして開催した。参加者はみんな夢中になって取り組んでおり、たくさんのいきものが生まれた。後日には、作ったいきものたちを動かしてコマ取りアニメを制作するワークショップも開催して、好評を得た。特にコマ取りに関しては、あまり類似の取組がないことから、また開催してほしいとの声もあった。




長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Nagakute Nature-Centered Project ハイキングコンサート2022 小学校鑑賞会		
日時	令和4年10月26日（水）	10時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	近藤薫(1st ヴァイオリン),荒井 里桜(2nd ヴァイオリン),松本 和将(ピアノ)		
公演内容	2本のヴァイオリンとピアノのための組曲より、第1楽章（モシュコフスキー） カプリス第24番（パガニーニ） 2本のヴァイオリンのための協奏曲より、第2楽章（J.S.バッハ） 2本のヴァイオリンとピアノのための5つの小品より、ガヴォット・ワルツ・ポルカ （ショスタコーヴィチ） 2本のヴァイオリンとピアノのための組曲より、第4楽章（モシュコフスキー）		
入場者数	666	入場率	100.0%
チケット料金	無料 市内小学校5年生（南小除く）		
支出	委託費	300,000円	
	計	300,000円	
収入	（補助金）文化庁	150,000円	
	計	150,000円	
回収率			50.0%
アンケート結果	動画で聞くよりひびいて、音楽の魅力がわかった。（東小、ヴァイオリン鑑賞経験あり） 自然と音楽を合わせるのは「頭いいな」と思った。（市が洞小、ヴァイオリン鑑賞経験なし） バイオリンは自然の物を使っている事に驚きました。演奏もとても綺麗でした。また、見に行きたい。（西小、ヴァイオリン鑑賞経験なし） 迫力が凄く吸い込まれるかんじでした。（長小、ヴァイオリン鑑賞経験あり）		
担当者コメント	10月30日(日)に実施する「ハイキングコンサート」の関連企画として、近藤薫氏が小学生を対象に、自然の多様性と人間の感性の重要性について、レクチャーをしながらプロの演奏を聴いてもらうことを目的としている。小学生たちは最初こそ緊張していたが、段々と和んで楽しそうになっていた。演奏者たちは、約600人の小学生とのコミュニケーションの取り方に悩みながら進行したとのことだったが、とても有意義な時間であった。		


長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Nagakute Nature-Centered Project ハイキングコンサート2022 ～森のなかに音楽が、しみわたる。		
日時	令和4年10月30日（日）	9時30分 開演	
場所	長久手市内(色金山歴史公園、香流川緑地、多度神社、つむぎて圃場)		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	近藤薫(1st ヴァイオリン),荒井里桜(2nd ヴァイオリン),児仁井 かおり(ヴィオラ),広田 勇樹(チェロ),渡邊玲雄(コントラバス),橋本 岳人(フルート),大島 弥州夫(オーボエ),ブルックス トーン 信雄(クラリネット),滑川 敬一(クラリネット),田作 幸介(ファゴット),安土 真弓(ホルン),西條 貴人(ホルン),井上 圭(トランペット),宮本 弦(トランペット),倉田 寛(トロンボーン),林 裕人(チューバ)		
公演内容	<色金山歴史公園>弦楽五重奏曲第2番 ト長調作品77より第1楽章(A.ドヴォルザーク) <香流川緑地>戦いの組曲(S.シャイト),空想・夢・おもちゃ(G.ファーナー) <多度神社>17世紀の古いハンガリー舞曲(ファルカシュ.F),ノヴェレッテ(F.プーランク(G.エマーソン編)) <つむぎて圃場>ジークフリート牧歌(R.ワーグナー)		
入場者数	32	席設定 30	入場率 106.7%
チケット料金	(前売) 中学生以上3,000円、小学1,000円、未就学児無料 (当日) 中学生以上3,000円、小学1,000円、未就学児無料		
支出	委託費	1,270,000円	
	コーディネート	200,000円	
	会場設営	50,000円	
	バス委託	340,920円	
	計	1,860,920円	
収入	入場料	78,000円	
	(補助金) 文化庁	725,000円	
	計	803,000円	
回収率			43.2%
アンケート結果	座っておりこうさんに室内で聴くだけが音楽ではないと改めて思った。子どもは目線が低いので、自然のもの（どんぐり等）が私たちより大きく見えているなあと改めて実感した。五感で楽しめた。（市外、30代男性） しぜんとのえんそうがいい。（市内、10代女性） 自然の中で音の響きが残らないことで、より楽器の音色がダイレクトに届き、風の音、鳥の音、枯れ草の匂い、相乗効果が素晴らしい。（市外、60代女性）		
担当者コメント	市内に残る里山の風景の中で音楽を聴くことで、自然の一部である人間の存在や共生について気づく機会を創る。自然の中でクラシック音楽を聴く体験は誰もが初めてのことで、参加者全員が自然との共生、Nature-Centered(自然中心主義)への理解を深めていけたと感じている。雨天でも晴天時に劣らないプログラム提供の仕方を考える必要がある。また、初回であり規模・出演者ともに贅沢な事業であったため、継続性を視野に事業を進めていきたい。		

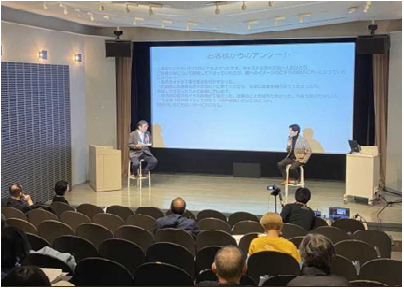
長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市文化の家アートスクール短期講座 「対話型鑑賞ワークショップ」@愛知県立芸術大学芸術資料館		
日時	令和4年11月3日（木）	11時00分 開演	
場所	愛知県立芸術大学		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	藤島えり子		
公演内容	対話型鑑賞		
入場者数	12	席設定	10 入場率 120.0%
チケット料金	(前売) 一般：1,000 (当日) 一般：1,000		
支出		委託費	20,000円
		計	20,000円
収入		入場料	12,000円
		計	12,000円
回収率	60.0%		
アンケート結果	<p>自分を知るための対話型鑑賞、という言葉が良かった。自分の見方、感じ方のクセ、固定概念も自分の中にはびこっているな、ということも改めて感じた。（市外、40代女性）</p> <p>絵画でなく立体作品のジャンルであったが、要素が少ない作品もあり、それがかえってみなさんの鑑賞を深めた気がする。（市内、40代女性）</p> <p>日常知らない「芸大」という場所で実施してよかった。（市外、50代女性）</p>		
担当者コメント	<p>集まった人で対話をしながら作品を鑑賞するプログラム。特別な知識は不要。絵を見て感じたこと、気づいたことを言葉にしてその場で互いにシェアすることで、発言力や他者の視点をくみ取る力が身につくといわれている。今年度最終回の今回は、市内にある愛知県立芸術大学芸術資料館の教員展を舞台に開催。講師は、今までの回で絵画作品を実施していたことから、今回は立体作品を選択し実施。参加者は新鮮な面持ちで、上下左右あらゆる角度から作品を鑑賞し、対話を楽しんでいた。「自分を知るためのツールの一つとして、これからも対話型鑑賞を楽しんでほしい。」という講師の言葉で、この回は締めくくられた。来年度以降、以前より参加者から要望のあった対話型鑑賞ファシリテーション講座を実施することも検討していく。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手フィルハーモニー管弦楽団第35回定期演奏会		
日時	令和4年11月20日（日）	14時30分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	長久手フィルハーモニー管弦楽団 指揮：高谷光信 ヴァイオリン：平光真彌		
公演内容	歌劇「魔弾の射手」序曲作品77（ウェーバー） ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品61（ベートーヴェン） 交響曲第6番ロ短調作品74「悲愴」（チャイコフスキー）		
入場者数	478	席設定 621	入場率 76.2%
チケット料金	（前売）フレンズ会員700円、一般800円 （当日）1,000円		
支出			提携事業のため支出なし
			計 0円
収入			提携事業のため収入なし
			計 0円
回収率			
アンケート結果	かなり伸びしろがあるオケだと感じた。指揮者が素晴らしい。これからの期待する。（県外、60代男性） 長久手に住んで17年だが、オケがあることを知らなかった。素晴らしい演奏だった。（市内、60代女性） 指揮者の迫力がすごくよかった。表情もよく見えるので、マスクを外してもよいと思う。（市外、30代女性）		
担当者コメント	年に2回行われている定期演奏会の2回目となる今回は、地元アーティストの平光さんをソリストに迎え、ベートーヴェンのヴァイオリンコンチェルトや、チャイコフスキーの交響曲第6番「悲愴」など、大曲にチャレンジしていた。指揮者高谷さんは、今回からミュージックアドバイザーに就任するなど、団員からの信頼も厚く、観客からのアンケートでも好評を得た。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	文化と地域デザイン講座 ～長久手市編～「障がいのある人に、いかに演劇を届けるか？」		
日時	令和4年11月20日（日）	15時00分開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	リアルタイム・後日
出演者	菅原ゆうき（兵庫県立ピッコロ劇団 俳優）、松本 茂章（文化と地域デザイン研究所代表）		
公演内容	<p>観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズ。</p> <p>テーマ：障がいのある人に、いかに演劇を届けるか？</p> <p>ゲスト：菅原ゆうき（兵庫県立ピッコロ劇団 俳優）</p>		
入場者数	席設定 80	入場率 0.0%	
チケット料金	無料		
支出	委託費	100,000円	
	計	100,000円	
収入	（補助金）文化庁	50,000円	
	計	50,000円	
回収率	50.0%		
アンケート結果	<p>多様性についての解釈が強心に残った。音声ガイドやオープン字幕など具体的に知ることができた。（市内、30代男性）</p> <p>演劇が見たくなった。少し難しい作品でもオープン字幕があると話がものすごく分かりやすくなる。こんなに深い話が聞けるとは思わなかった。（市外、50代女性）</p> <p>地道にコツコツ実践を積み重ねている劇団の努力に頭が下がる。できる範囲で続けていくこと、広めていくこと、これらの取り組みを実践しようと思った。（オンライン（福井県）、40代女性）</p>		
担当者コメント	<p>視覚・聴覚に障がいがある方が、演劇公演を鑑賞することに、ハードルがあることが多い。そんな中、兵庫県立ピッコロ劇団は鑑賞サポートに力を入れている。音声ガイドや字幕作成を俳優自らがやっていることが紹介され、実際に会場のお客さんも音声ガイドの体験をした。内容も非常に意義深いもので、ピッコロ劇団内からも、職員向け研修用映像として利用したいとの話もあった。障害者福祉関係者も参加・視聴があり、他分野連携の取組が紹介できたと感じている。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 午後の佇み② 古くて新しいフォルテピアノの世界

日時 令和4年11月25日（金） 14時00分開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 普及・啓発事業 配信 リアルタイム・後日

出演者 荒川智美（フォルテピアノ）

公演内容 J. Ch. バッハ：ソナタ第1番 ト長調 作品17より、第1楽章
 W. A. モーツァルト：ソナタ第11番 イ長調 K.331より、第3楽章「トルコ行進曲」
 L. v. ベートーヴェン：ソナタ第8番 ハ短調 作品13「悲愴」

入場者数 117 席設定 250 入場率 46.1%

チケット料金 (前売) 1,000円
 (当日) 1,000円

支 出	委託費	200,000円
	印刷製本費	20,384円
	計	220,384円

収 入	入場料	123,000円
	文化庁助成金	金額未定
	計	123,000円

回収率 55.8%

アンケート結果 スライドを使つての説明や曲や楽器についての解説もありとても楽しめた。（市外、30代女性）
 フォルテピアノは初めて聴いた。なつかしい素朴さがあった。（市内、80代女性）
 18世紀の終わりの音を感じられた。今後もこの企画を続けて頂きたい。（市外、70代男性）

担当者 コメント フォルテピアノの演奏会は、文化の家ではほとんど開催実績が無く、初めてフォルテピアノを聴いたという声が多かった。写真付きの解説も好評で、フォルテピアノの仕組みも説明することができ、新しいクラシック音楽の魅力を伝えるという目的が達成できた。古楽の演奏会を中心に周知を行っていたが、集客面では課題を残したため、もう少し広く県内の演奏会に折り込みなどを行う必要があったように思われる。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 音楽講座シリーズ② 映画音楽

日時 令和4年11月26日（土） 14時00分開演

場所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 小室敬幸（講師）

公演内容 映画音楽の歴史を概観する講座

入場者数 57 席設定 80 入場率 69.5%

チケット料金 （前売）500円
（当日）500円

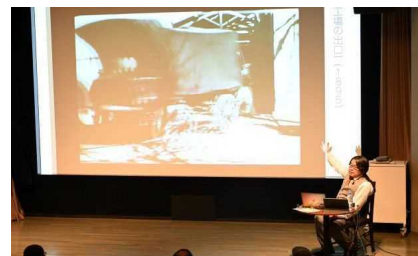
支 出		委託費	60,000円
		印刷製本費	15,937円
		計	75,937円

収 入		入場料	31,100円
		計	31,100円


回収率 41.0%

アンケート結果 映画はよく見るが、音楽の使われ方まで深く意識していなかった。（市外、40代女性）
内容が充実しており勉強になる。この講座が続くことを希望する。（市外、60代男性）
今まで音楽は付け足しと感じていたかもしれない。今日から見方が変わる。（市内、50代女性）

担当者
コメント 今年度から開催している、音楽ライター小室敬幸氏による講座の映画音楽版。まだフィルムに音楽がついていなかった時代の映画音楽から始まり、どのように映画音楽が発展していったのかを、たくさんの作品紹介を交えて解説していただいた。何気なく聴いていた映画音楽の深い部分まで知ることができたといった声もあり、参加者の満足度の高いものになった。講座修了後には、次回以降の講座のチケットを購入している人も多数おり、連続講座としてもうまくいっていると思われる。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	愛知県立芸術大学「いつわりの女庭師」		
日時	①令和4年12月3日（土）②令和4年12月4日（日） 14時00分開演		
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	<p>【12月3日（土）】澤井佑介（ドン・アンキーゼ）、田邊実遊、土井里佳子（サンドリーナ）、奥村心太郎（ベルフォール）、川口百佳（アルミンダ）、横尾萌、尾崎保乃歌（ラミーロ）、岡菜月、小山小百合（セルベッタ）、上田賢、伊藤友祐（ナルド）【12月4日（日）】住原春樹（ドン・アンキーゼ）、中村清美（サンドリーナ）、寺島大雄（ベルフォール）原田幸子（アルミンダ）、小坂千尋（ラミーロ）、柴田千沙都（セルベッタ）、清水光希（ナルド）</p>		
公演内容	歌劇「いつわりの女庭師」（モーツァルト）		
入場者数	721	席設定 505	入場率 70.5%
チケット料金	（前売）2,000円 （当日）2,000円		
支出	提携事業のため支出なし		
		計	0円
収入	提携事業のため収入なし		
		計	0円
回収率			
アンケート結果	<p>今回のように、あまり知られていない演目でも面白い作品はたくさんあると思うので、どんどん挑戦してほしい。（市内、50代女性）</p> <p>せっかく迫力のある演技なのに、字幕の位置が高すぎて読んでいるとステージが見えなくて残念だった。（市外、80代女性）</p> <p>オペラはあまり観劇しないのだが、字幕スーパー付きだったので内容もわかりやすく楽しめた。（市外、60代男性）</p>		
担当者コメント	<p>毎年恒例の公演ということで、固定客もついており盛況であった。演目はあまり知られていないものだが、演出、美術背景等工夫されていたため、観客からも好評だった。昨年字幕の位置が見にくいという意見が出ていたが、今年は中央上部に見直して設置したため不評な意見はなかった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	フレンズ企画Part4 フレンズ クリスマスコンサート Duo Aise デュオ エーゼ		
日時	令和4年12月7日（水）	14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	市民参画事業（提携）		
出演者	Duo Aise 中西美知子（ヴァイオリン） 風呂矢早織（ピアノ）		
公演内容	ヴァイオリンソナタ1番（ヘンデル） いつか王子様が 煙が目にしみる アイ・ガット・リズム ほか		
入場者数	176	席設定 385	入場率 45.2%
チケット	(前売) フレンズ会員1,000円、一般1,200円 (当日) 一般1,000円		
支出			提携事業のため支出なし 計 0円
収入			提携事業のため収入なし 計 0円
回収率	アンケート実施せず		

アンケート結果

担当者 コメント

フレンズの自主企画によるコンサートの44回目。今回は地元で活動するヴァイオリンとピアノのデュオであった。クラシックとジャズの耳なじみのある曲が選曲されており、曲紹介や話も楽しく、クリスマスコンサートにふさわしい内容となった。




長久手市文化の家 自主事業報告書


公演名	令和4年度白石加代子「百物語」 アンコール公演第4弾「小袖の手」宮部みゆき、「栞の恋」朱川湊人		
日時	令和4年12月8日（木）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	白石加代子		
公演内容	令和4年度白石加代子「百物語」アンコール公演第4弾「小袖の手」宮部みゆき、「栞の恋」朱川湊人		
入場者数	353	席設定 435	入場率 80.0%
チケット料金	（前売）一般4,500円、フレンズ4,000円、シニア割4,200円、U25割2,500円、2階席3,000円 （当日）一般4,500円、フレンズ4,000円、シニア割4,200円、U25割2,500円、2階席3,000円		
支 出	公演委託費	2,000,000円	
	動画作成委託費	8,800円	
	チラシ印刷費	23,233円	
	看板印刷作業費	44,000円	
	情報ページ掲載料	55,000円	
	計	2,131,033円	
収 入	入場料	1,453,700円	
	瀬戸信用金庫地域振興協力基金	338,000円	
	計	1,791,700円	
回 収 率	84.1%		
アンケート結果	<p>もっと多くのプロデュース公演や演劇を誘致してほしい。（市外、50代男性）</p> <p>独特の世界に、何一つ見逃したくないと集中させてくれる、素晴らしい舞台であった。（市外、60代女性）</p> <p>初めて朗読公演を体験した。これからも素敵な作品に出会いたい。（市内、40代女性）</p>		
担当者コメント	<p>NHK大河ドラマ『花燃ゆ』、NHK連続テレビ小説『ひよっこ』など多作品で活躍するベテラン女優白石加代子の朗読演劇。白石氏は怪談話の朗読劇を主に行っており、観客はみな白石氏の発声、強弱、緩急の付け方等のテクニックにより、物語の恐怖に陥れられていた。大女優を招き入れた物珍しさからか、長久手市内だけでなく、近隣からの観客も多く見られ、大きな集客となった。劇中、スマートフォンからと思われる通知音が鳴ったため、休憩時間中に電源を切るよう場内アナウンスをしたが、劇の最終場面で同じ通知音が鳴った。これは劇場だけではなく、観客や出演者にとってとても残念なことであるため、このようなことが発生することがないように、どのように場内のお客様にお伝えすることができるか検討していきたい。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	落語theデイスカバリイ		
日時	令和4年12月11日（日）	15時30分開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	春風亭 柳枝（しゅんぶうてい りゅうし）、春風亭 朝枝（しゅんぶうてい ちょうし）、 桂 華紋（かつら かもん）、桂 二葉（かつら によう）、 桂 弥太郎（かつら やたろう） トークコーナー司会		
公演内容	トークコーナー 出演者全員 「牛ほめ」 桂 華紋 「夢の酒」 春風亭 朝枝 「そば清」 春風亭 柳枝 「佐々木裁き」 桂 二葉		
入場者数	208	席設定 280	入場率 73.2%
チケット料金	（前売）フレンズ会員2,500円、一般3,000円 （当日）3,500円		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率			
アンケート結果	<p>女性落語家と東西比較という趣向に関心をもち、参加した。各人の強みを存分に生かした芸で、大変良かった。（市外、40代男性）</p> <p>スマチケの入場が大変スムーズにできて良かった。（市外、60代女性）</p> <p>最初のわかりやすい解説がとても良かった。久し振りに涙が出るほど笑った。（市外、50代女性）</p>		
担当者コメント	<p>江戸と上方の噺家4人で構成する落語会を提携事業として実施した。当初売り上げが伸び悩んだが、桂二葉さんが全国放送の朝のTV番組に出演した影響もあってか、じわじわと販売数を増やしていった。関西のスピード感満載の桂華紋さん、見事な演じ分けを見せた春風亭朝枝さん、ご当地ネタを織り交ぜ笑いを誘う春風亭柳枝さん、元気で若さと可愛らしさで魅了する桂二葉さん、公演の諷い文句であった「江戸落語と上方落語の趣の違いを味わってもらおう」はもちろんのこと、各噺家の個性を存分に味わっていただける内容であった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	日東工業presents 吹奏楽フェスティバル in Nagakute		
日時	令和4年12月18日（日）		
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	リアルタイムのみ
出演者	長久手中学校、長久手南中学校、長久手北中学校、長久手高等学校、栄徳高等学校、県立大学吹奏楽サークル、吹奏楽団響		
公演内容	合同演奏：海を越えた握手（スーザ）、ジブリメドレー（久石譲）、宝島（和泉宏隆）		
入場者数	187	席設定 250	入場率 74.8%
支出	提携事業のため支出なし		
		計	0円
収入	提携事業のため収入なし		
		計	0円
回収率			
アンケート結果	<p>子供の演奏を初めて見ることができ良かった。合同演奏は迫力があって子供たちの刺激になると思う。（市内、40代女性）</p> <p>中、高、大学生、社会人といろいろな年代の演奏が聴けたこと、また、一緒に演奏していることが素晴らしいかった。（市内、40代男性）</p> <p>3年ぶりの合同演奏が圧巻であり感動した。とても貴重な経験だと思った。（市内、50代女性）</p>		
担当者コメント	<p>市内の吹奏楽団体が一同に会する吹奏楽フェスティバル。今年度は3年ぶりに合同演奏も開催した。感染症対策のため、一人一人の間隔を開け平土間形式での演奏のため、演奏を揃えるのが難しそうであったが、学生同士が互いの練習の成果を見る機会となり、社会人で演奏活動をしている大人と取り組む事業としても非常に貴重な機会となった。少しではあるが観客もいれ、動画配信も行った。昨年に引き続き、日東工業株式会社にバックアップしてもらい、プレスリリースも協力いただいた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	創造スタッフ劇場「NEON」		
日時	令和4年12月24日（土）	①11時00分②14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	後日配信のみ
出演者	文化の家創造スタッフ 至学館大学学生ダンサー		
公演内容	完全オリジナル作品 原案：小西祐矢（美術系創造スタッフ） 台本：大脇ばんだ（演劇系創造スタッフ）		
入場者数	152	席設定 300	入場率 24.8%
チケット料金	(前売) 500円 (当日) 500円		
支出	創造スタッフ年間契約の範囲で実施		計 0円
収入	チケット収入500円×114人	入場料	57,000円
		計	57,000円
回収率			47.5%

アンケート結果
 昨年とはまたちがったコンセプトでとても良かった（市内 50代男性）
 会場に入ったとたんネオンの世界にとびこんだみたいでわくわくした！！（市内 20代女性）
 私もアップデートしようと思った。とてもいいお話だった（市外 40代女性）
 ダンスがとてもおもしろかった（市内 9歳以下女性）

担当者
コメント

創造スタッフの専門分野をそれぞれが生かしたオリジナル公演を制作するという目的を大きく達成できた。準備に約1年をかけた集大成公演にふさわしい内容となり、子どもから大人まで幅広い年代に楽しんでもらうことができた。また席設定に対して集客にまだ改善が可能と思われるため努力したい。さらに当日大雪に見舞われるトラブルで集客が減ってしまったことは悔やまれるが、臨機応変な対応によって無事公演を開催できたことはよかった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ④ 「おしいれのぼうけん」		
日時	令和5年1月21日（土）	①11時00分②14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	大脇ぱんだ（朗読）、弓立翔哉（打楽器）、小田智之（作曲・ピアノ）		
公演内容	朗読と音楽シリーズの第4段。演劇系創造スタッフ大脇ぱんだによる朗読と、音楽系創造スタッフの弓立翔哉（パーカッション）と小田智之（鍵盤・作曲）の即興演奏で創る朗読と音楽企画。 「おしいれのぼうけん」 作 ふるたたるひ／たばたせいいち		
入場者数	141	席設定 80	入場率 86.0%
チケット料金	（前売）フレンズ・一般500円 （当日）フレンズ・一般500円		
支出	創造スタッフ年間委託の範囲として実施		計 0円
収入	500円×150人	入場料	75,000円
		計	75,000円
回収率	55.3%		

アンケート結果 初めての経験だった。朗読とはこうしてやるものなんだと感じた。（市外、70代女性）
とても臨場感のある朗読だった。子供の頃の、なつかしい気持ちになった。（市内、40代男性）
はく力やしょうめい、声の感じがとてもいいなと思った。また来たい。（市外、10代女性）

担当者コメント シリーズ4回目となり、事業が定着してきた中で、初めて絵本作品に挑戦した。ロングセラー名作をチョイスしたことで親子で楽しんでほしいという目的のもとで実施したが、ねらいどおり親子での来場が非常に多かった。早々に完売となり、提供できない人も多くあったが、次回に期待してほしい。絵本原作だが、絵を見せない、朗読と音楽と照明だけで実施したことでより想像力を働かせることができる事業となった。



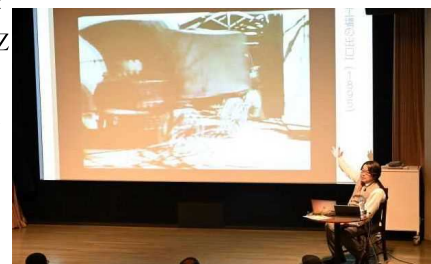
長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	音楽講座シリーズ③ ジャズ		
日時	令和5年1月28日（土）	14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	小室敬幸（講師）		
公演内容	ジャズの聴き方講座		
入場者数	63	席設定	80
	入場率 76.8%		
チケット料金	（前売）500円 （当日）500円		
支出		委託費	60,000円
		計	60,000円
収入		入場料	34,000円
		計	34,000円
回収率	56.7%		

アンケート結果
 映画はよく見るが、音楽の使われ方まで深く意識していなかった。（市外、40代女性）
 内容が充実しており勉強になる。この講座が続くことを希望する。（市外、60代男性）
 今まで音楽は付け足しと感じていたかもしれない。今日から見方が変わる。（市内、50代女性）

担当者
コメント

多様なジャンルの音楽について理解を深めるための入門講座。講師は音楽ジャーナリストの小室敬幸氏。今回はJAZZ長久手公演への布石としてジャズの歴史を中心とした歴史を紹介した。数々のエポックメイクとなった人物や出来事を交えて初心者にも判りやすい内容であった。



令和4年度シネマの楽しみ

期日	開演	名称	入場者
4/14(木)	10:00 14:00	ショウほど素敵な商売はない	33 32
5/12(木)	10:00 14:00	見知らぬ乗客	34 29
6/9(木)	10:00 14:00	雨に唄えば	36 27
7/14(木)	10:00 14:00	おとうと	36 30
9/8(木)	10:00 14:00	素晴らしき哉、人生！	38 28
10/13(木)	10:00 14:00	独裁者	37 36
11/10(木)	10:00 14:00	欲望という名の電車	38 29
12/8(木)	10:00 14:00	裸の大将	39 25
1/12(木)	10:00 14:00	めぐり逢い	35 29
2/9(木)	10:00 14:00	炎上	38 34
3/21(祝・木)	10:00 14:00	ディア・エヴァン・ハンセン(有料)別途記載	

令和4年度 アートデリバリー実施報告

長久手市内児童館等で、乳幼児を含んだ親子等、劇場に足を運びにくい市民に対して演奏会を実施し、一息ついたり、親子で楽しむ時間となるように届ける。

出演者：弓立翔哉（創造スタッフ、パーカッション）

小田智之（創造スタッフ、鍵盤・作曲）

大脇ぱんだ（創造スタッフ、演劇・朗読）

林友里菜（創造スタッフ、コンテンポラリーダンス）

実施回数：8回

参加者数：各会場：約30人

- ① 8月25日（木）9：30～上郷児童館
- ② 8月25日（木）11：00～市が洞児童館
- ③ 8月29日（火）10：30～東児童クラブ
- ④ 9月28日（水）9：30～青少年児童センター
- ⑤ 9月28日（水）11：00～南児童館
- ⑥ 12月2日（金）10：30～北児童館
- ⑦ 1月18日（水）10：00～アートケアチャイルド
- ⑧ 3月17日（金）10：30～西児童館



令和4年度 ふくしであーと実施報告

長久手市内福祉施設等に訪問演奏を行い、日常的に劇場に足を運ぶことができない市民に音楽を届ける。またコロナ禍における福祉施設での生活の潤いとなるように実施する

出演：石川貴憲（サクソフォン）、菅原拓馬（ピアノ、作曲）

観覧者数；各施設約30人程度

	日程	実施先	サービス	運営母体
1	4月26日	ながろく集会所		長六自治会
2	5月27日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	(有) ハートフルハウス
3	5月27日	ゴジカラ村ケアハウス	デイサービス・ケアハウス	(福) 愛知たいようの杜
4	5月27日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	(福) 愛知たいようの杜
5	10月14日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	(福) 愛知たいようの杜
6	10月14日	嬉楽屋	グループホーム	(福) 愛知たいようの杜
7	10月14日	だいたい村	小規模特別養護老人ホーム	(福) 愛知たいようの杜
8	11月24日	ゴジカラ村ケアハウス	デイサービス・ケアハウス	(福) 愛知たいようの杜
9	11月24日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	(福) 愛知たいようの杜
10	11月24日	楽居尊	住居型有料老人ホーム	(有) ハートフルハウス



令和4年度 大学インターンシップ・中学校職場体験実習等報告

長久手市文化の家へのインターンシップ希望者や市内中学校からの職場体験依頼について受け入れを行った状況を報告いたします。受け入れのプログラムは文化の家の特性を生かした劇場業務体験として設定し、公演鑑賞はもちろん、リハーサルや準備への立ち会いや、打合せ同席などを体験してもらうほか、対話型鑑賞のワークショップや、美術系創造スタッフによる創作を通したコミュニケーションワークショップを実施するなど多義に渡って文化芸術を体験できるプログラムとしている。基本的には各学校から依頼のあったものについて対応している。以下受け入れ状況。

令和4年

8月16日(火) 名古屋音楽大学より1人

8月17日(水) 名古屋音楽大学より1人

8月19日(金) 愛知淑徳大学より2人

8月20日(土) 愛知淑徳大学より2人

8月21日(日) 愛知淑徳大学より2人

12月8日(木) 名古屋芸術大学より1人

12月22日(木) 名古屋芸術大学より1人

12月23日(金) 名古屋芸術大学より2人

12月24日(土) 名古屋芸術大学より2人

令和5年

1月12日(木) 長久手中学校職場体験2人

1月13日(金) 長久手中学校職場体験2人

1月27日(金) 愛知医科大学より2人

1月31日(火) 愛知医科大学より2人

2月24日(金)～3月19日(火) 愛知教育大学社会教育実習7人

3月3日(金) 愛知淑徳大学より3人

3月4日(土) 愛知淑徳大学より3人

3月5日(日) 愛知淑徳大学より3人

年間受け入れ日数 31日 延べ38人

